

# 重要

## 安全にご使用いただくためのお願い

取扱説明書をよく読み、正しく安全にご使用ください。

### ①ろ過槽本体の設置

水槽にろ過槽本体を設置する際は、ろ過槽本体を正しく設置してください。ろ過槽本体が傾いた状態で設置すると、水漏れの恐れがありますのでご注意ください。

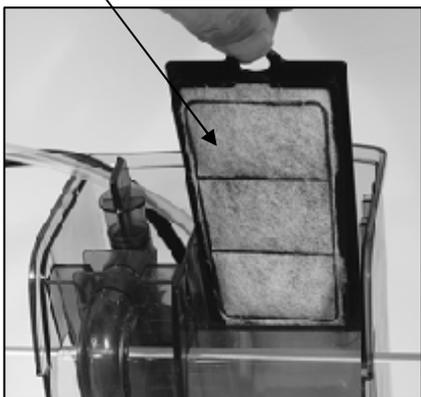


水槽の縁に設置する際、ろ過槽本体底部にあるすき間調節リングを回転させて、本体が垂直になるように調節してください。

すき間調節リング

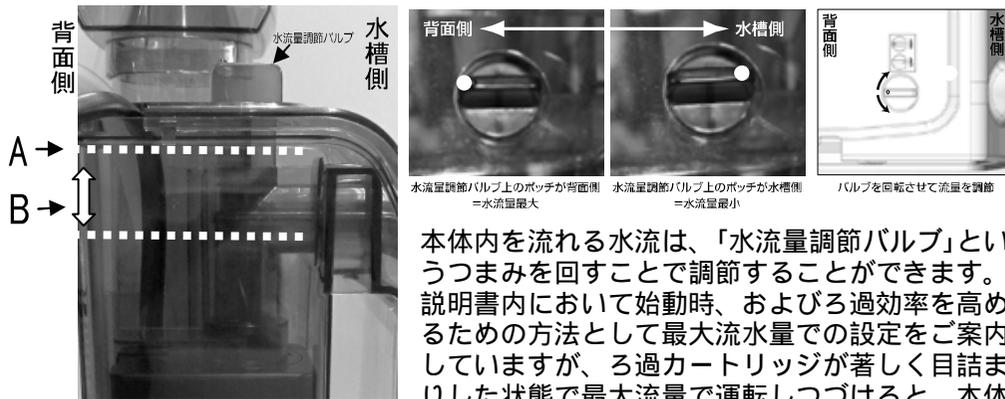
### ②ろ過カートリッジのメンテナンスおよび交換

#### ろ過カートリッジ



海道河童フィルターの本体には、「ろ過カートリッジ」が入っています。ろ過カートリッジは、水槽の水を浄化するための大切な消耗部品です。定期的な交換だけでなく、状況に応じて目詰まりの洗浄が必要となります。目詰まりしたままで使用し続けると、十分なる過機能が発揮されず飼育水の水質が悪化するだけでなく、本体上部から水が漏れる原因となる可能性がございます。取扱説明書（p10）の表に記載された目安を参考にメンテナンスおよび交換を定期的に行い、安全にご使用ください。

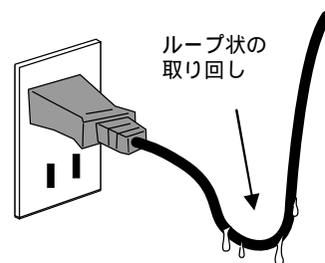
### ③本体内容水の管理(水流量調節バルブによる流量、水位の調整)



- A・・・ろ過カートリッジの洗浄、交換  
または流量調節が必要な水位
- B・・・適正な水位の範囲（目安）

本体内を流れる水流は、「水流量調節バルブ」というつまみを回すことで調節することができます。説明書内において始動時、およびろ過効率を高めるための方法として最大流量での設定をご案内していますが、ろ過カートリッジが著しく目詰まりした状態で最大流量で運転し続けると、本体上部から水が漏れる恐れがあります。左図を参考に、ろ過カートリッジの洗浄、交換を行うだけでなく、水流量調節バルブを調節して本体内容水、水位を適正に保ってください。

### ④漏水時の漏電、ショート防止対策



コンセントに水が入ると、漏電やショートなど重大事故の原因となりますので特にご注意ください。ご使用されるコンセントの仕様や形状をご確認のうえ、漏電ブレーカーの設置や、電源コードをループ状にたわませて水を逃がず取り回しを行うなど、状況に合わせて万が一電源コードに水が伝わった場合を想定して、コンセントに水が入らない対策を行ってください。また、可能であれば、水槽や水槽まわりの電気器具より高い位置にあるコンセントをご使用ください。



電源コードは、下向きよりも上向きに取り回した方が、水が伝わりにくくなります。コンセント付近の対策だけでなく、ろ過槽本体から出ている電源コードの取り回しを上向きにしておくことも漏電、ショート防止対策としておすすめします。